

水際線まちづくりコンセプトプラン（原案）について

報 告

令和8年3月24日

都市整備局臨海部活性化推進課

1. 本日の報告について

第40回横浜市都市美対策審議会政策検討部会で、ご審議いただいた「（仮称）水際線まちづくりコンセプトプラン（案）」について、政策検討部会や市民意見募集等でいただいたご意見を踏まえ、原案としてまとめましたので報告します。

2. コンセプトプランの策定経緯

09/16	コンセプトプランの基本的方向について市会報告
11/05	都市美対策審議会政策検討部会 審議
12/12～15	コンセプトプラン(素案)市会報告
12/17～1/26	市民意見募集
03/11～13	コンセプトプラン(原案)市会報告
03/24	<u>都市美対策審議会 報告(本日)</u>
3月末	コンセプトプラン策定

3. 水際線まちづくりコンセプトプランについて

- ・ 臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線について、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めます。
- ・ その実現に向けて、2029年度までのまちづくりの進め方や、整備の方向性等をまとめたコンセプトプランを策定します。



3. 水際線まちづくりコンセプトプランについて

目 次

- 01 水際線とは
- 02 水際線の魅力
- 03 水際線まちづくりの目指す姿
- 04 まちづくりの進め方
- 05 まちづくりのコンセプト
- 06 整備の方向性

～水際線の5つのエリア～

- 1 臨港パークエリア
- 2 ハンマーヘッド周辺エリア
- 3 赤レンガエリア
- 4 象の鼻エリア
- 5 山下公園エリア

～5つのエリアのつながりの強化～

- 1 照明
- 2 水際線ルートサイン

～水際線とまちのつながりの強化～

- 1 横浜駅～臨港パーク
- 2 みなとみらい駅～臨港パーク
- 3 結節点サイン・矢羽根サイン

3. 水際線まちづくりコンセプトプランについて

水際線の5つのエリア

エリアごとの特性を活かしながら魅力を高めるまちづくりを進めていきます。

5

山下公園
エリア

4

象の鼻
エリア

3

赤レンガ
エリア

2

ハンマーヘッド周辺
エリア

1

臨港パーク
エリア

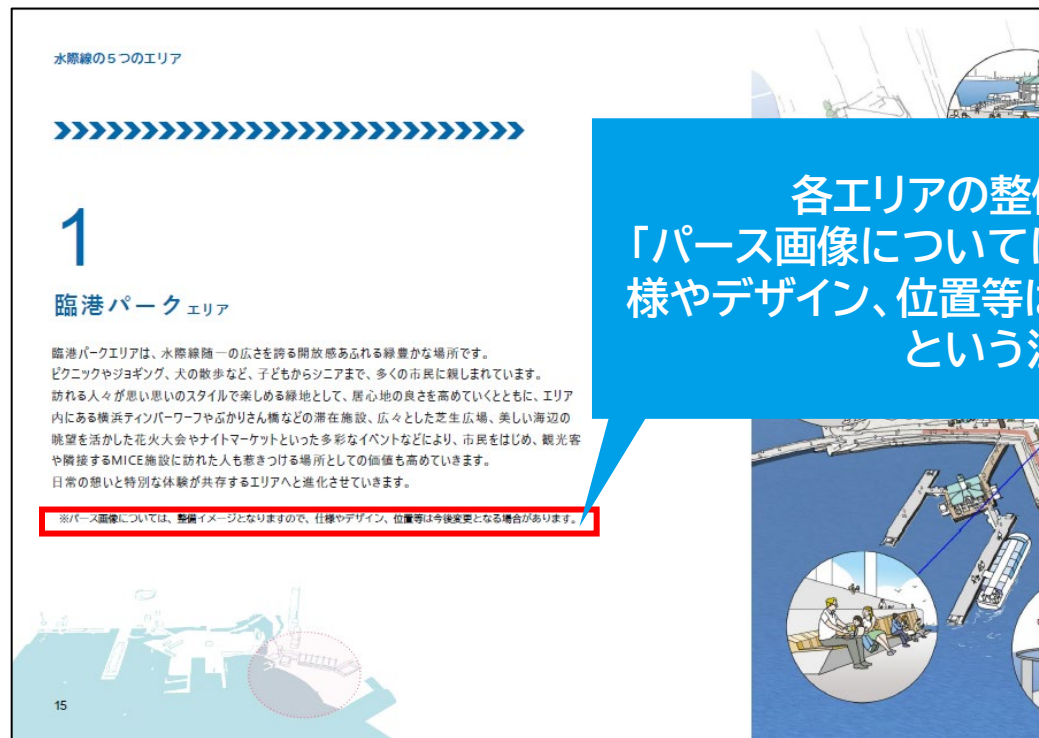


政策検討部会での決定事項

- ・ 方向性については概ね了承とする
- ・ コンセプトプラン中のパース画像に描かれている整備内容が、決定事項であるかのような誤解を与えないようにすること
- ・ これまでの水際線の形成の経緯を踏まえ、現状と課題の整理を行うこと

4. 政策検討部会での決定事項及びその対応

①コンセプトプラン中のパース画像に描かれている整備内容が、決定事項であるかのような誤解を与えないようにすること



各エリアの整備の方向性を示すページに
「パース画像については、整備イメージとなりますので、仕様やデザイン、位置等は今後変更となる場合があります。」
という注釈を追加しました。

②これまでの水際線の形成の経緯を踏まえ、現状と課題の整理を行うこと

コンセプトプランでは整備後のイメージを中心に記載し、現状と課題については、今後、本プランに基づき進める各エリアの具体的な整備内容を景観審査部会に諮る際に、水際線の形成の経緯も含め説明させていただきます。

5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容	コンセプトプランへの反映
<コンセプトプラン全体> ・多様な主体との連携	【P.10】 ■まちづくりの進め方 ○ 文章を追記

まちづくりの進め方

1
「点」

の磨き上げ



- ・まちと海の近さや港の風景・夜景、観光スポット、商業・エンタメ施設など、多彩で横浜らしい魅力資源のポテンシャルを最大限に発揮できるようアップグレードします。
- ・新たな魅力・にぎわい施設を整備するなど、横浜ならではの魅力を創出します。



<左下>photo:大野隆介

2

「線」

- ・磨き上げた魅力のため、連続した移動そのものづくりにより、魅力を向上さ



3

「面」

- 消化を主とし、即心臨海部主幹
を活性化します。



目指す姿の実現に向けて、「点の磨き上げ・線の創出・面の展開」の考え方にに基づき、民間企業やまちづくり団体等と連携しながら、まちづくりを進めていきます。

目指す姿の実現に向けて、「点の磨き上げ・線の創出・面の展開」
 の考え方にに基づき、民間企業やまちづくり団体等と連携しながら、
 まちづくりを進めていきます。

5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容	コンセプトプランへの反映
<コンセプトプラン全体> ・環境への配慮 ・酷暑対策	【P.13】 ■エリア全体でのまちづくりの視点 ○ ページを追加

エリア全体でのまちづくりの視点

水際線のまちづくりを進めるにあたり、エリア全体で共通して取り組んでいく視点をまとめました。
これらの視点を踏まえながら、まちづくりを進めていきます。

① 環境への配慮や 気候変動への対応



- ・水際線上に彩りや豊かさを生み出す新たな緑を創出し、海辺空間と一体となったまちづくりを進めます。
- ・再生材の活用やLED照明の設置などにより、環境負荷の軽減に努めます。
- ・木陰の創出や遮熱性の舗装材の活用による酷暑対策など、昨今の気候変動に対応したまちづくりを進めます。



① 環境への配慮や気候変動への対応

- ・水際線上に彩りや豊かさを生み出す新たな緑を創出し、海辺空間と一体となったまちづくりを進めます。
- ・再生材の活用やLED照明の設置などにより、環境負荷の軽減に努めます。
- ・木陰の創出や遮熱性の舗装材の活用による酷暑対策など、昨今の気候変動に対応したまちづくりを進めます。



5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容	コンセプトプランへの反映
<コンセプトプラン全体> ・ 移動手段の充実 ・ 誰もが楽しみやすい空間の創出	【P.13】 ■エリア全体でのまちづくりの視点 ○ ページを追加

エリア全体でのまちづくりの視点

水際線のまちづくりを進めるにあたり、エリア全体で共通して取り組んでこれらの視

① 環境への配慮や
気候変動への対応

[illegible]

- ・水際線の上に彩りや豊かさを生み出す新たな緑を創出し、海辺空間と一体となったまちづくりを進めます。
- ・再生材の活用やLED照明の設置などにより、環境負荷の軽減に努めます。
- ・木陰の創出や遮熱性の舗装材の活用による酷暑対策など、昨今の気候変動に対応したまちづくりを進めます。



② 人にやさしい快適な
環境づくり

- ・歩行領域モビリティ（車）や、シェアサイクル、ロープウェイなど多彩なモビリティにより、誰もが水際線を楽しめる環境づくりを進めます。
- ・案内サインの多言語化や歩きやすい歩行者空間の整備など、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めます。
- ・誰もが気軽に飲食や休憩ができる施設の整備を行うなど、誰もが滞在できる環境を整えます。



② 人にやさしい快適な環境づくり

- ・歩行領域モビリティ（※）やシェアサイクルなど多彩なモビリティにより、誰もが水際線を楽しみながら移動できる環境づくりを進めます。
- ・案内サインの多言語化や歩きやすい歩行者空間の整備など、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進めます。
- ・誰もが気軽に飲食や休憩ができる施設の整備を行うなど、快適に滞在できる環境を整えます。

※歩行空間での利用を前提とした最高速度が時速6km/h程度の小型電動モビリティ
(免許不要、道路交通法上、電動車いす等と同じ扱い)



※歩行領域キリシティとは：歩行空間での利用を前提とした最高速度が時速6km/h程度の小型電動キリシティ（免許不要、道路交通法上、電動自転車等と同じ扱い）

5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容	コンセプトプランへの反映
<コンセプトプラン全体> ・ 水域の活用 ・ 子どもが体験学習できる場の創出	【P.13】 ■エリア全体でのまちづくりの視点 ○ ページを追加

エリア全体でのまちづくりの視点

水際線のまちづくりを進めるにあたり、エリア全体で共通して取り組んでいく視点をまとめました。
これらの視点を踏まえながら、まちづくりを進めていきます。

③ 海辺を活用したにぎわいづくり

- ・ きれいな海づくりを推進するとともに、子どもたちが水に触れ合う体験や、海の生物について学べる機会を創出していきます。
- ・ 海辺空間を活用したイベントの実施や、水上アクティビティ・飲食の充実などにより、にぎわいづくりを進めます。
- ・ 水上交通で各エリアを結び、回遊性を高める取組を推進するとともに、船上から見る朝日や夜景、花火など、朝や夜のコンテンツの充実を図ります。



③ 海辺を活用したにぎわいづくり



- ・ きれいな海づくりを推進するとともに、子どもたちが水に触れ合う体験や、海の生物について学べる機会を創出していきます。
- ・ 海辺空間を活用したイベントの実施や、水上アクティビティ・飲食の充実などにより、にぎわいづくりを進めます。
- ・ 水上交通で各エリアを結び、回遊性を高める取組を推進するとともに、船上から見る朝日や夜景、花火など、朝や夜のコンテンツの充実を図ります。

の空間を進めます。
行うなど、



5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容	コンセプトプランへの反映
<臨港パークエリア> ・遊具の充実	【P.17】 ■整備の方向性 -水際線の5つのエリア（臨港パークエリア） - ○ パースを修正

【（臨港パーク）子どもから大人まで憩える空間の創出】

（反映前）



（反映後）



5. 政策検討部会・市民意見募集を受けて原案に反映した主な内容

主なご意見の内容

コンセプトプランへの反映

<照明>

・安心して過ごせる照明整備

【P.46】 ■整備の方向性 – 照明 –

○ 文章を追加

2 場所にあった光

- エリアの特性に合わせた光の変化をデザインし、移動しながら楽しめる光環境を目指します。
- 安心・快適に過ごせるような光環境をつくります。
- 光を抑えて夜景を眺める場所もつくり、周辺での景観を楽しめるようにします。
- まちへの動線との交点や曲がり角などに光のアクセントを配置し、次の動線への動きを誘います。

5つのエリアの特性

①臨港パーク



みなとみらい地区の海へ向かう軸線に採用されている照明を活かすほか、足元を優しく照らすとともに、周辺の夜間景観を楽しめる視点場として、落ち着いた光環境を目指します。



歴史的資源であるハンマーヘッドクレーンを象徴的に演出するため、新港パーク等を含む周辺は落ち着いた夜間景観の形成を推進するとともに、臨港パークからのつながりが感じられる照明とします。



地区のシンボルである赤レンガ倉庫の雰囲気エリア全体で感じられるように、温かみのある光で演出します。



自動車道は水面に浮かぶ特徴的な歩行者空間となっています。複数ある内水面への映り込みを意識した光環境を目指します。

光のアクセント

④象の鼻パーク



開港の地で象の鼻パークはシンボル感が感じられる照明計画とします。また、臨港線プロムナードは水際線の中でも高いところから海を眺める場所にあるため、周辺の夜間景観を楽しめるよう落ち着いた空間にしつつ、歩行者も楽しめるような光環境をつくります。



夜間も公園利用者が安心できる落ち着いた光環境をつくるとともに、特別な時間には海からの見え方も大切に、ナイトタイムを楽しむような照明とします。



水際線のつながりに気づきかけとして光のアクセントを配置し、夜景と非日常感を楽しみながら次のエリアへの期待感を高め、自然な回遊を促します。

○安心・快適に過ごせるような光環境をつくります。

6. 今後のスケジュール

令和8年3月24日 コンセプトプラン（原案）報告

3月末 コンセプトプラン 策定